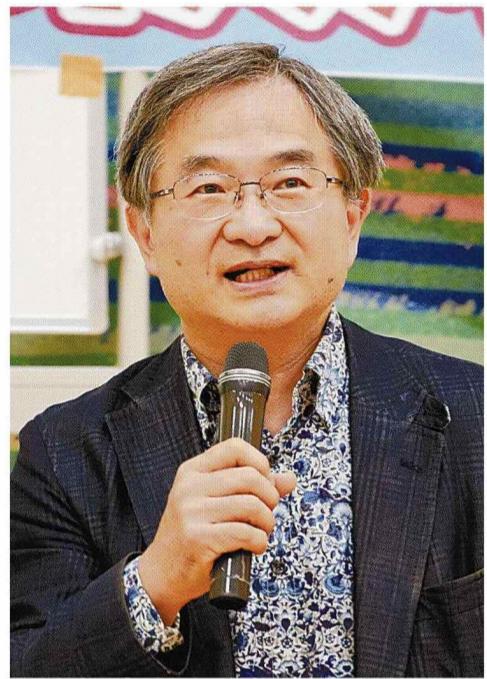


はなし

抄

早稲田大法学学術院教授 水島 朝穂さん

(8月30日、札幌市北区で開かれた講演会「平和と安全をどう創るか」より)



みずしま・あさほ 53年東京都生まれ。早稲田大大学院法学研究科単位取得退学。札幌学院大助教授、広島大助教授などを経て96年から現職。13年から全国憲法研究会代表。専攻は憲法学、法政策論、平和論。近著「ライブ講義徹底分析！集団的自衛権」(岩波書店)をはじめ著書多数。

国會で審議中の安全保障関連

ベルリンの壁が崩れたのも、きっかけはデモでした。1989年9月4日、旧東ドイツのライプチヒの教会の前に人々が集まり「旅行の自由をよこせ」「自由な選挙を行なう」という二つの要求を掲げてデモを行いました。もちろん、当時の東ドイツにデモをする自由はなく、市民はすぐ警察に追い返されました。それでも、その場に集まつた人々は「来週、もう一回や

ろう」と約束して別れました。すると次の週は5千人が集まつた。さらに次の週は2万人になり、10月17日には10万人に膨れ上がったのです。

それを知った旧東ベルリン

丈夫だと思ったんでしょう。しかし、100万人が広場を目指したといわれるほど大きなかつた普普通の主婦もデモに参加している。戦争になつた。俳優や芸術家なら大丈夫だと思つたんでしょう。

しかしながら、100万人が広場を配されていました。市民は尾行され、盗聴され、手紙を開封されるような社会でした。

それに対して、市民が「私た

安保法案は穴だらけ 市民の声で政治の地殻変動を

法案に反対して、12万人（主催者発表）が国会を取り囲みました。

安保法案は矛盾だらけ、穴だらけで、国会の議論でもか

なりボロが出ています。

多くの人がそれに気付いていま

す。しかも憲法学者の割が

ます。しかも憲法学者の割が

ます。しかも憲法学者の